

電気設備工事特記仕様書				
工事名称	大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			
工事場所	三重県伊賀市大山田 地内			
建物概要				
建物名称	構造	延面積 (㎡)	消法令の適用	備考
本館棟	S造 1階建て	****	(15)項	

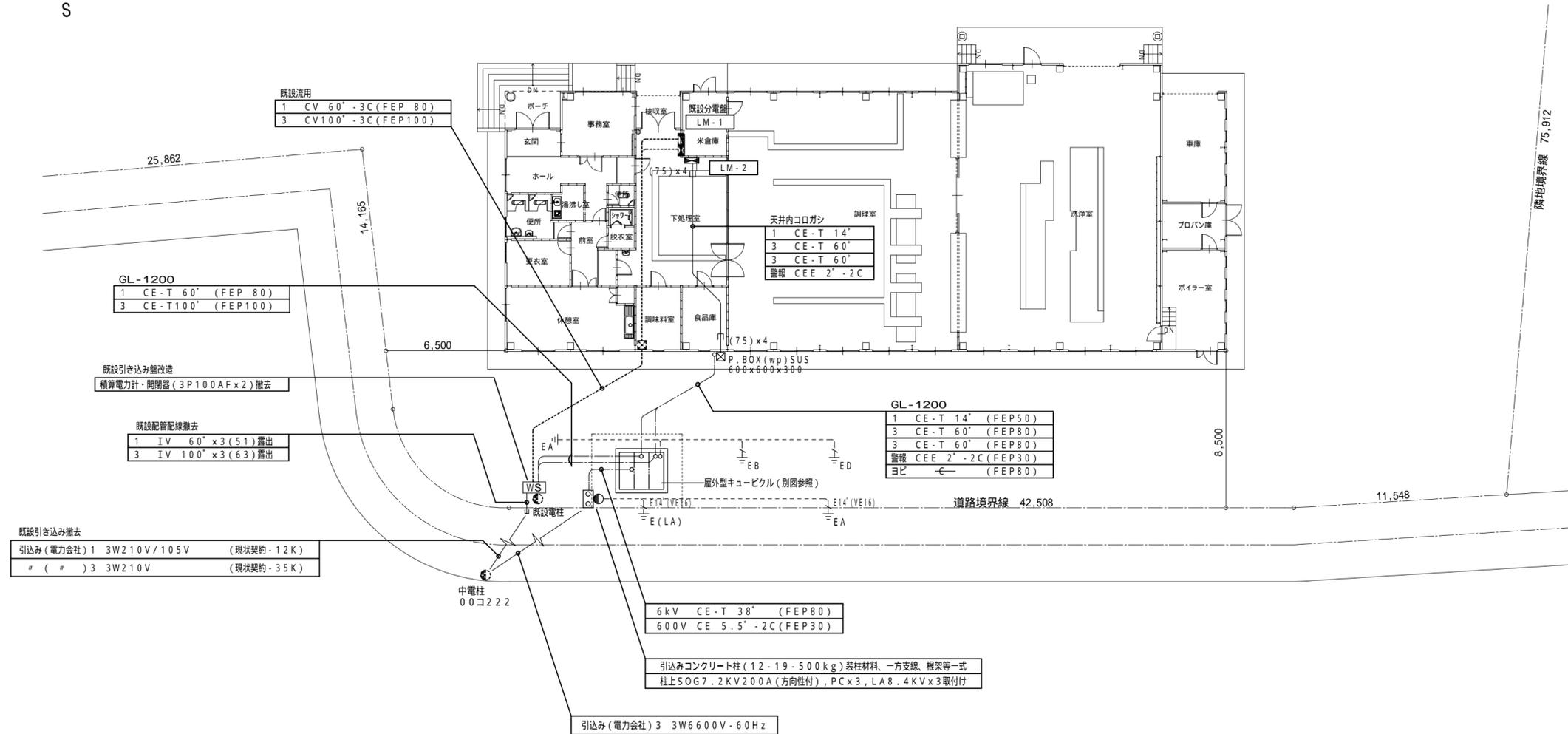
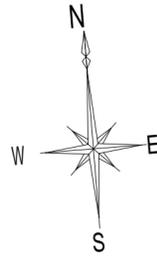
項目	特記事項
① 施行基準	<p>図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 <ul style="list-style-type: none"> 「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) 「公共建築設備工事標準図 平成28年版」(電気設備工事編・機械設備工事編) 「公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版」(電気設備工事編・機械設備工事編) 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」平成28年版 * 国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 <ul style="list-style-type: none"> 「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」 * 電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準) * 電力会社供給約款 * 消防関連法規(条例・所轄審指導要領を含む) * 電気工業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 * その他関連法規、関連諸基準
② 一般事項	<p>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。</p> <p>設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。</p> <p>なお設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。</p> <p>他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。</p>
③ 施工計画等	<p>受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 総合施工計画書 <p>なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。</p>
④ 工事使用材料等	<p>工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 使用機材届出書(メーカーリスト) * 機器明細図 * カタログ・製作図・その他諸資料 <p>なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー(参考)及び国土交通省大臣営繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿(最新版)又はこれらと同等以上のものとする。</p> <p>また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。</p>
⑤ 工程表	<p>関連業者間にて十分協議し実施工程表を作成して監督員に提出すること。</p> <p>なお実施工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。</p> <p>又、工程については、学校運営に支障が無いよう検討すること。</p>
⑥ 工事写真	<p>国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第3版)・建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。</p> <p>なおCDの提出部数は「電子納品」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> * 代表写真(不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等)を抽出しL判相当サイズで印刷。(A4版用紙に両面印刷にて3枚/ページ) 1部
⑦ 完成写真	<p>主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、L判相当サイズで印刷する。(A4版用紙に3枚/ページ) 1部</p> <p>撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。</p>
⑧ 完成書類	<p>工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。</p> <p>書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 * 製本図面(竣工図)：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 竣工図は、原図サイズを2部。 <ul style="list-style-type: none"> 白焼き(青焼き不可)で文字潰れのないこと。表紙(可能な範囲で背表紙にも)に「年度、工事名、竣工図、受注者名」を印字(シール不可)すること。 * 引渡目録、工事書類リスト * 工事書類(工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等) * 工事書類(打合記録、工事材料搬入報告) * 完成図書(試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等) * 官公署手続き書類等(検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等) * その他監督員の指示する書類 <p>ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。</p> <p>なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。</p>
⑨ 完成確認、完成検査時の電源確保	<p>機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。</p>

項目	特記事項
① 足場	<p>設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行占用足場方式により行うこと。</p> <p>監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。</p> <p>工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。</p>
② 施工条件	
③ 事故の発生時	
④ 発生材の処理等	<p>引き渡しを要するもの()</p> <p>上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。</p> <p>特別管理産業廃棄物 変圧器 コンデンサ その他()</p> <p>処理方法 現場内の監督員の指定する場所へ保管</p> <p>なお施工に際して、PCB等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を発見した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。</p> <p>発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(マニフェストA票、E票の写しを監督員に提出すること)</p> <p>↳構内敷きならし 場外搬出(片道運搬距離 約 km)</p>
⑤ 残土処分	
⑥ 電子納品	<p>工事完成図書は、竣工図・施工図のCADデータ(JWW)及びPDFを格納。</p>
⑦ 諸手続	<p>工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。</p>
⑧ 消防提出書類	<p>消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成(電気設備図面の用意及び電気設備に関する部分の記述)を行うこと。</p> <p>本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。</p> <p>既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に十分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。</p>
⑨ 既設との取合い	
⑩ 既設設備の調査	
⑪ 工事中の保安管理	<p>新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。</p>
⑫ 不当介入を受けた場合の措置	<p>暴力団員等による不当介入(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)を受けた場合の措置について</p> <p>(1) 受注者は暴力団員等(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(2) (1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。</p> <p>(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p>
⑬ 耐震基準	<p>耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成8年版」(建設大臣官房長官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修)による。</p> <p>(1) 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度(Ks)</p> <p>(2) 地域係数は1.0とする。</p> <p>(3) 自重が100kg以下の比較的軽量の機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)の取付については、取付下地を入念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。</p> <p>(4) 配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。</p> <p>(5) 機器の耐震計算書を提出すること。</p> <p>重量1kN(100kg)以上のアンカー取付機器</p> <p>盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。</p>

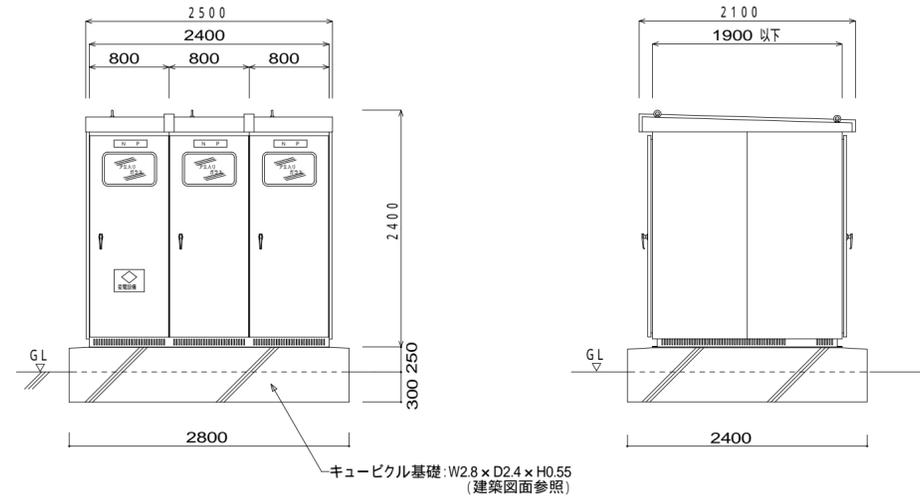
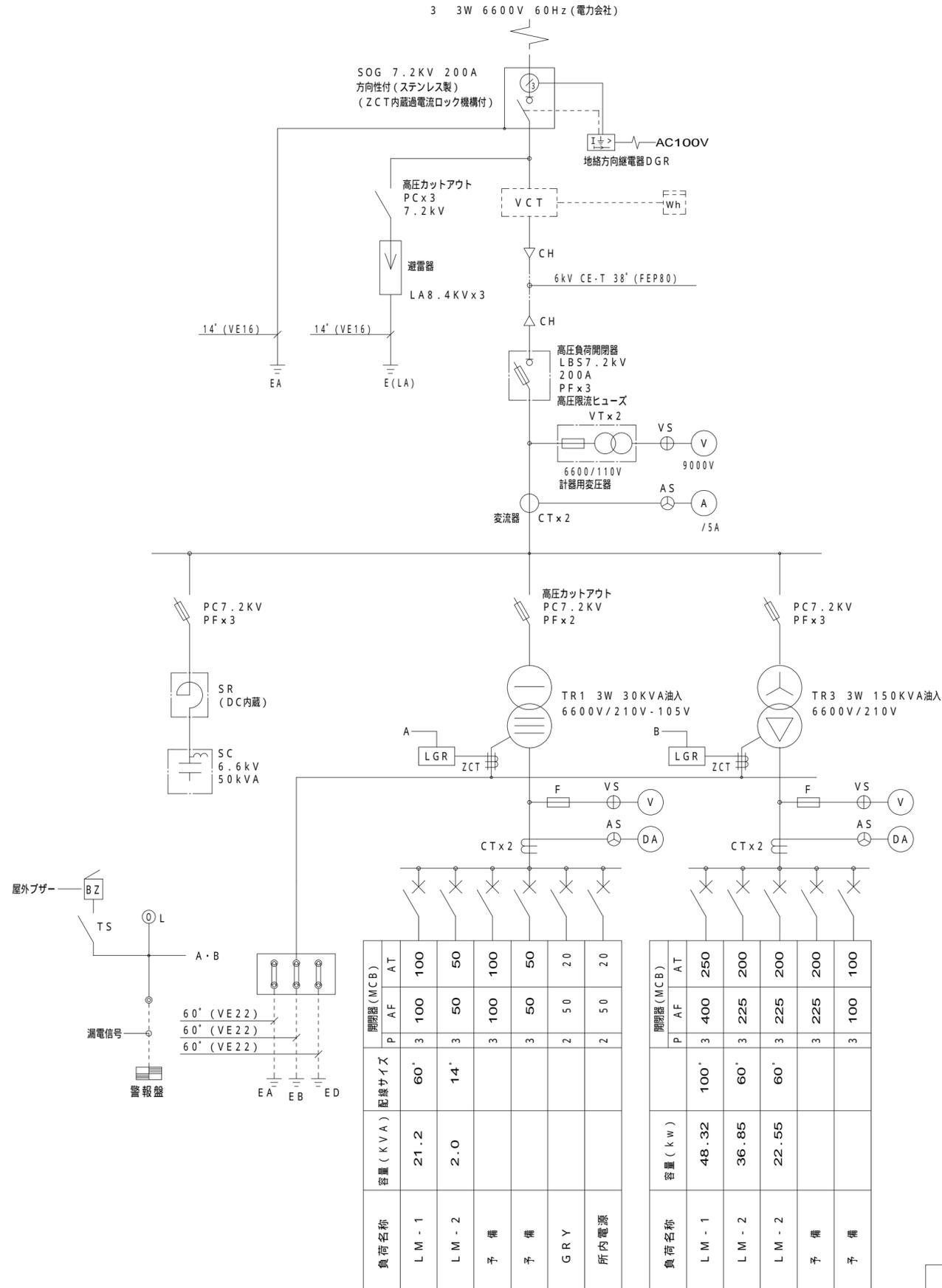
項目	特記事項
④ 施工	<p>(1) 塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定色で2回塗りとする。 金属管、2種金属線び、吊りボルト、支持具等鋼板製(SUS)、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く)は原則として塗装を施すこと。 <p>(2) 行先表示等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。 <p>(3) セパレータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 <p>(4) 保護キャップ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ(おおよそ2m以下)にある場合は保護キャップを取り付けること。 <p>(5) 躯体を貫通する場合、鉄筋探査機等を使用し鉄筋を切断しないよう施工すること。</p> <p>(6) 地中埋設配管には、埋設表示杭・シートを布設すること。</p> <p>(7) 防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。</p>
⑤ その他	<p>(1) 使用機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 <p>(2) 測定機器の校正記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。 (3) 設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。

工事範囲		配管				配線		受変電設備取替		フェンス工事		
● 受変電設備	工事範囲	● 3 3W6600V 60Hz		○ 架空		○ 地中						
	引込方法	● 3 3W6600V 60Hz		○ 架空		○ 地中						
	操作方法	● 手動式		○ 電気式(・交流・直流)								
	型 式	● キュービクル型		○ 開放型		○ 屋内		● 屋外		○ 民間仕様		
● 幹線設備	付属品他	○ 電力ヒューズ(3本)		○ フック棒(1本)								
	その他	○ 消防庁認定品		○ 消防庁認定準拠品								
	工事範囲	● 配管		● 配線		● 機器取付		○ 引込		○ 引込み工事負担金		○ 警報設備
● 動力設備	電気方式	● 3 3W 210 V 60Hz		● 1 3W 210/105 V 60Hz								
	盤類形式	○ 埋込み型		● 露出型		○ 民間仕様						
	その他	● 警報設備		● 動力設備								
● 動力設備	工事範囲	● 配管		● 配線		● 機器取付		● 動力機器の試運転調整				
	制御方式	○ 警報盤		○ 遠方操作盤		● 現場盤による操作		○ 中央監視盤による操作				
	手元開閉器	○ 鉄箱		● 樹脂製		○ Aメーター付(3P/3ミ)						
● 電灯コンセント設備	工事範囲	○ 配管		● 配線		○ 機器取付						
	配線器具	○ 特別なものを除き大角型とする										
	プレート	● 新金属		○ ステンレス		○ フルカラー()						
	照明器具	● 何れも省電力型を優先とする。		○ バイブ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。								
照度測定	○ 行う(各居室 3ポイント)		○ 行わない									

PROJECT		PROJECT NO.	
大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			
DRAWING		SCALE	
電気設備 特記仕様書			
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			'17. 2.
			DRAWING NO.
			E - 1(5)



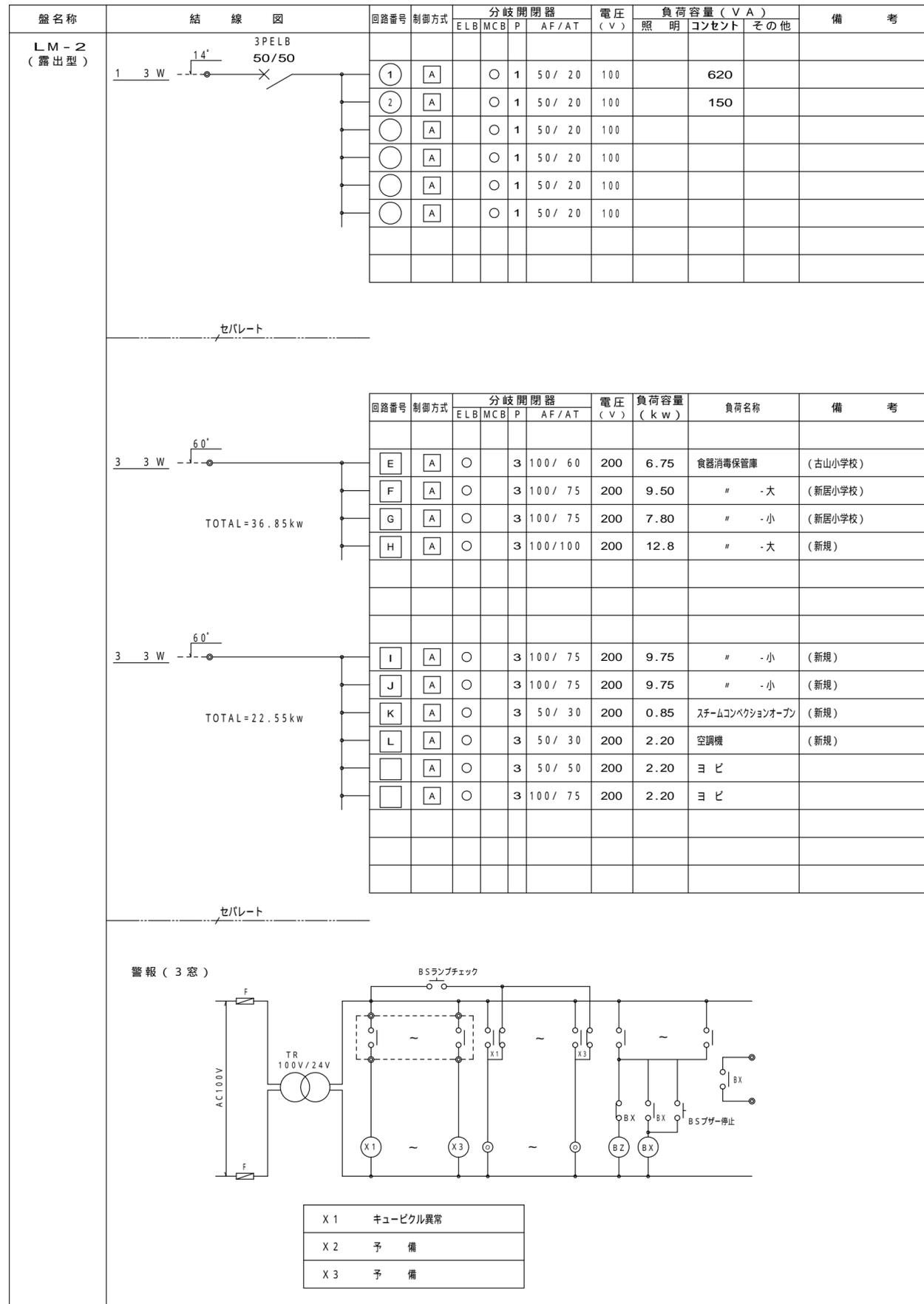
PROJECT 大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備 配置図			SCALE 1:200
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '17. 2.
			DRAWING NO. E - 2



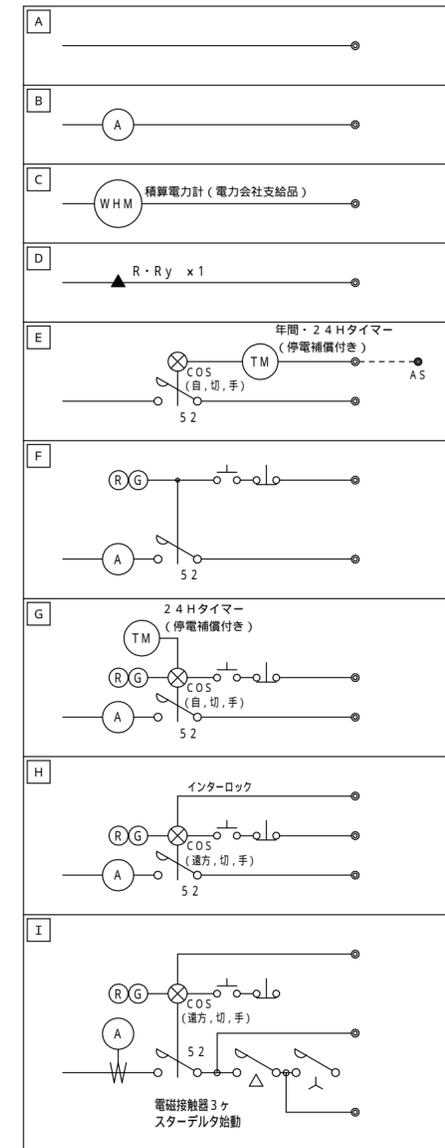
増設可能型

高圧受変電設備単線結線図

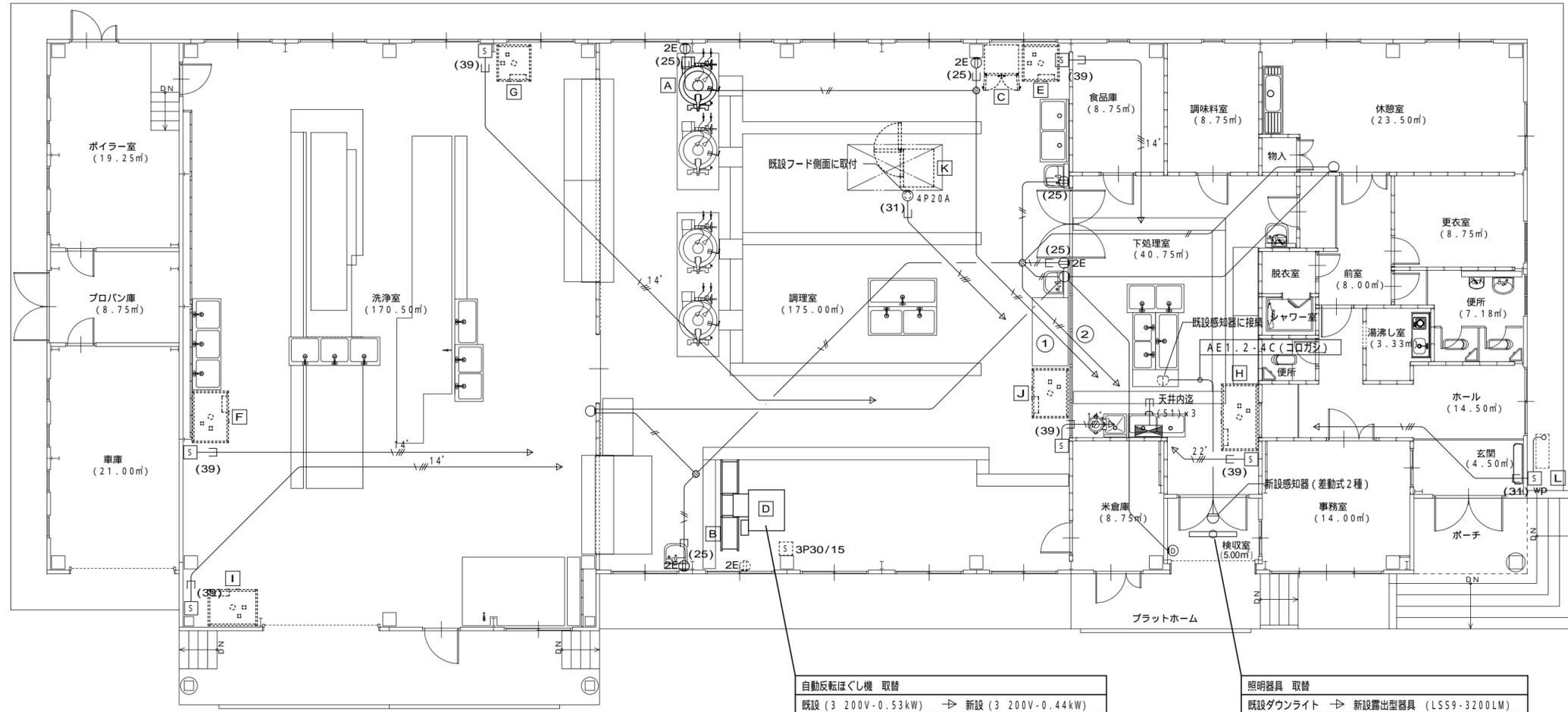
PROJECT 大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備 高圧受変電単線結線図			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '17. 2.
			DRAWING NO. E-3



X 1	キュービクル異常
X 2	予 備
X 3	予 備

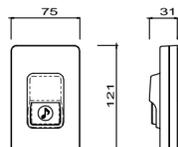
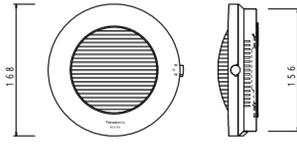


PROJECT 大山田給食センター電気及び機械設備改修工事			PROJECT NO.
DRAWING 電気設備 盤類結線図			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE '17. 2.
			DRAWING NO. E - 4



自動反転ほくし機 取替
 既設 (3 200V・0.53kW) → 新設 (3 200V・0.44kW)

照明器具 取替
 既設ダウンライト → 新設露出型器具 (LSS9・3200LM)

新設露出型器具 (LSS9-3200LM)	① チヤム用押釦	○ 光るチャム																						
直付型40形Dスタイル W150  一般タイプ、3200lmタイプ 定格出力型、電圧100-242V 本体：鋼板（白色粉末塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：4000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 LSS9-3200LMLE9	 パナソニックEG331相当品 <table border="1" data-bbox="697 1617 1113 1732"> <tr><td>定格容量</td><td>1A 300V AC 3A 30V</td></tr> <tr><td>接点構成</td><td>片切（常開型）</td></tr> <tr><td>質量</td><td>125g</td></tr> <tr><td>使用周囲温度</td><td>-10 ~ +50</td></tr> </table>	定格容量	1A 300V AC 3A 30V	接点構成	片切（常開型）	質量	125g	使用周囲温度	-10 ~ +50	 パナソニックEC170相当品 <table border="1" data-bbox="1202 1596 1617 1732"> <tr><td>定 格</td><td>電源電圧 AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td></td><td>消費電力 待機時 3.5W（定格電圧にて）</td></tr> <tr><td></td><td>鳴動時 12W（定格電圧にて）</td></tr> <tr><td>発音方式</td><td>電子回路＋スピーカー</td></tr> <tr><td>寿命</td><td>4万回鳴動または、点滅動作100時間</td></tr> <tr><td>光出力</td><td>キセノンランプのフラッシュ光</td></tr> <tr><td>形状</td><td>適合ボックス 1コ用スイッチボックス</td></tr> </table>	定 格	電源電圧 AC100V 50/60Hz		消費電力 待機時 3.5W（定格電圧にて）		鳴動時 12W（定格電圧にて）	発音方式	電子回路＋スピーカー	寿命	4万回鳴動または、点滅動作100時間	光出力	キセノンランプのフラッシュ光	形状	適合ボックス 1コ用スイッチボックス
定格容量	1A 300V AC 3A 30V																							
接点構成	片切（常開型）																							
質量	125g																							
使用周囲温度	-10 ~ +50																							
定 格	電源電圧 AC100V 50/60Hz																							
	消費電力 待機時 3.5W（定格電圧にて）																							
	鳴動時 12W（定格電圧にて）																							
発音方式	電子回路＋スピーカー																							
寿命	4万回鳴動または、点滅動作100時間																							
光出力	キセノンランプのフラッシュ光																							
形状	適合ボックス 1コ用スイッチボックス																							

注 配線図中特記なき配管配線は下記とする。

—	EEF 2.0-3C 1C=ED	天井内コロガシ
—	CE 5.5'-4C 1C=ED	"
—	CE 14'-4C 1C=ED	"
—	CE 22'-4C 1C=ED	"

但し、露出部分は、配管保護を行うこと。

No.	品 名	電 気 (kW)		手元開閉器 容量 [S]
		単相100V	三相200V	
A	回転釜 (新設)	0.02		
B	ライスチェッカー (新設)	0.01		
C	肉用冷蔵庫	0.6		
D	自動反転ほくし機 (新設)		0.44	
E	食器消毒保管庫 (古山小学校)	別途移設品	6.75	3P60A
F	" -大 (新居小学校)	別途移設品	9.50	3P60A
G	" -小 (新居小学校)	別途移設品	7.80	3P60A
H	" -大	別途支給品	12.8	3P100A
I	" -小	別途支給品	9.75	3P60A
J	" -小	別途支給品	9.75	3P60A
K	スチームコンベクションオープン	別途支給品	0.85	
L	空調機 (新設)		2.20	3P30A
計		0.63	59.84	

PROJECT 大山田給食センター電気及び機械設備改修工事	PROJECT NO.
DRAWING 電気設備 設備図	SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED
DRAWN	DATE '17. 2.
DRAWING NO. E-5(E)	